

会議報告書(要旨)

- 会議名 令和3年度第1回日向市総合体育館整備市民検討委員会
- 日時 令和3年10月7日(木) 15:00~17:20
- 場所 日向市中央公民館第4研修室
- 主催 資産経営課
- 出席者 市民検討委員会委員(13名、欠席6名)、事務局(7名)

【会次第】

1 開会

- ・委嘱状交付
- ・総務部長あいさつ

2 委員及び事務局紹介

3 報告等

- | | |
|-------------------------|-----|
| (1) これまでの検討経過、基本計画等について | 資料1 |
| (2) 市民アンケート調査結果について | 資料2 |
| (3) PFI等導入可能性調査結果について | 資料3 |
| (4) 整備スケジュールについて | 資料4 |
| (5) 日向高校課題型学習について | 資料5 |

4 意見交換

- 総合体育館の機能、諸室等について 資料6

5 その他

【主な意見(要旨)】

3 (1) これまでの検討経過、基本計画等について

(副委員長) 基本構想策定時のスケジュールが、国民スポーツ大会の延期により変更になっているので、今後、留意していただきたい。

(委員長) 日向市の体育館整備も国民スポーツ大会宮崎大会を目処としている中で、時間軸も重要な視点であることから、国民スポーツ大会の現状について説明していただきたい。

(副委員長) 昨年開催予定だった鹿児島大会は延期となった。今年の三重国体は、コロナ禍により中止となり、延期もされないため、宮崎大会は、2027年の予定である。今年、宮崎県も内定が出される予定のため、今後、他県の延期があっても、2027年の開催は、変わらない予定である。

(事務局) (4) の整備スケジュールの中で、延期したスケジュールについて説明させていただく。

3 (2) 市民アンケート調査結果について (3) PFI等導入可能性調査結果について

(委員長) 市民アンケート調査については、今までの検討経過等を踏まえると、ある程度妥当な結果であったと考えるが、委員の方のご意見はどうか。

(委員) 体育センターの利用状況について、利用者が少ない結果であったが、スポーツをされている中でも屋内スポーツ、屋外スポーツをされている方もいると思うので、一概には言えない面もあるのではないかと。コロナ禍の影響もあるのではないかと。

(委員) 調査結果としては、体育館整備に関して、理解できる、おおむね理解できると考えた方が、概ね7割ということで、ある程度予想された結果であったと考える。利用状況については、コロナ禍で利用が少なかった面や高校生については学校を利用していると考えられる。

(委員) 以前の基本構想段階から、建設場所に関する市民の意見が気になっていた。市民も高校生も7割以上が賛成とのことだが、市の中心部への意見もあった。選定する場所が限られてくるので、様々な条件を考慮すると妥当な結果ではないかと考える。

(委員長) どこに建設するかは、基本構想の際の委員会でも様々な意見があり、市の中心部がいいという意見、議会などの意見もあったが、アンケートでも説明資料を添付して、様々な比較条件の中で、建設場所を選定しているので、結果としては妥当ではないかと考えている。

(委員) 宮崎県でも日向市だけ市民体育館がないので、やはり大きな体育館を整備してほしい。市体育センターも日向市が整備したものではない。他市の状況を市民にも理解してもらいたい。

(委員) アンケート結果が回収率27.3%というのが気になる。私の団体の会議で意見を聞いたところでは、体育館が出来ることは知っているが、体育館を利用したこともなく、興味がない方もいる。大王谷の方は、水泳場がなくなったときに、代替として、学校プールを活用するとのことだが、監視員をどうするかなど具体的に示されていないため、課題が多い。

(委員) 体育館整備の考え方には地域差もある。利用する側と利用しない側でも差があると思うが、アンケートの回収率からは、関心がないように思える。日向は体育館がなかったので、体育館を利用するという意識が少ないのではないかと。現在、サンドームでミニバレー等を行っているので、今後、体育館ができれば利用者は増えてくるのではないかと考えられる。

(委員) 日向高校の生徒の意見で、子ども達が遊べる場所を作ってほしいとか、託児施設を作ってほしいとの意見があった。そのような施設があれば、今回、コロナ禍で子どもセンターも使用できない期間があり、保護者も大変だったようなので、今後、体育館が多目的に使える施設となれば良いと思う。若い世代がいろいろ考えていることがわかり、うれしい。

(委員) 周りには、図書館の整備が優先ではないかとの意見が多い。この体育館の事業は進んでいることを説明しているが、体育館を整備することへの周知について、私たち委員も含めて、啓発が必要ではないかと考えている。体育館の機能だけではなく、子育て中の方や高齢者など、様々な方が利用できるコーナーもある体育館にしてほしい。

(委員長) 大きな事業であることから、体育館整備への市民への啓発、情報発信は、市民に理解して頂くうえで大変重要である。検討委員会や市の方も今後、更なる情報発信に努めていただきたい。

(委員) 今ある体育館とサンドームの価値も評価し、今度できる体育館ができれば、北と南で施設の充実が図られると考えている。

(委員) アンケート結果では、回収率は低かったが、防災に関する意見が多かった。新しい体育館は、大規模災害のことを考えると高台がいいと思う。避難所として小中学校の高台もあるが、大規模災害時には、防災の拠点となる機能のある大きな体育館が高台に必要と考える。地質調査を行うとのことであるが、地盤は耐震性に大変重要である。いつ頃調査を行うのか。

(事務局) 地質調査については、今月発注し、年明けにはまとめる予定となっている。

(委員長) 防災の視点は、基本構想の際にも大きなポイントになっていたので、今回の基本計画においても重要な視点になると考える。

(委員) 観光との関わりについては、合宿や大会等による交流人口の増加であり、将来性はあると考える。アンケートでは利用していない方が86%ということであったが、地域性もあると思うし、屋外スポーツをしている方もいると思う。体育館は、イベント等で使用するが、ぜひ使いたいと思えるような中身の充実が必要ではないかと考える。

(委員長) PFIについては、市民サービスやコスト縮減の観点から、調査報告であった手法で整備していくということであるが、今後、委員会をどのように進めていくかということも含めてご意見はあるか。

(副委員長) 整備までのいろいろな過程がある中で、反対意見もあると思うが、体育館整備のメリット、デメリットをきちんと整理して、防災の拠点、財政、スポーツの振興等をトータルで考えて、体育館を整備していく必要がある。県内で体育館が整備されていないのが日向市だけであり、海が近い日向市の災害時の防災拠点としても、高台の大王谷に体育館を整備していく必要があると考えている。子ども達の利用や子育て世代の利用について、体育館を作る段階で、若い世代や保護者の意見も入れていくことも重要であり、設計や建設の段階でもいろいろな意見を出していただきたい。体育館はスポーツだけではなく、他市ではワクチン接種会場になったり、就職案内会場等に利用されたり、様々なことに利用されており、日向市の体育館もスポーツだけではなく、様々な利用価値があり、いろいろな目的に利用できることをアピールしていくことが必要であると考えている。

(委員長) コロナ禍の中でも、体育施設はいろいろな目的で使用されており、よりいいものをより安く、整備したあとも市民が使いやすいように検討してくため、専門のコンサルタントによるPFIの調査が行われた。DBO、DB+Oの手法の優位性が高いという結果であったので、今後、事業手法についても、検討を進めていくということになる。

4 意見交換

○総合体育館の機能、諸室等について、付箋紙へ意見を書きいただき、分類分けを行ったうえで、委員長に意見をまとめていただいた。

【主な意見（要旨）】

(委員) 災害時の観点から、大きな空間に人が集まり、様々な方が数日間から1週間、寝泊まりをするということになり、家族間の仕切りの壁など、宿泊用パーツ（ユニット）の準備

が必要ではないかと考えている。

(委員長) 今後、基本計画の策定にあたり、委員会でも様々なこと検討する必要があり、資料のその他のところに書かれてある運営の部分についても検討する必要がある。オリンピック、パラリンピックを観戦しての考えや高校生の意見なども含めて、その他の機能のところも重要な視点となる。

(委員) 競技機能について、県外の大会に行くことがあり、体育館の屋外の壁にボルタリングの壁があるところが多いので、壁の利用についても考えてもらいたい。武道場をアップ場として利用できるように、バスケットのゴールを設置してもらいたい。

(委員長) 競技用の部分と付帯的な施設の活用という視点ということである。

(委員) 管理・機能について、女性用トイレは混雑することが多いので、増やした方がいいと考える。

(委員) 障がい児のバギーが入るようなトイレは以前の説明で作ると言われていたが、そのような方達が来られて、保護者がゆっくりとお茶が飲めるようなコーナーがあってほしい。

(委員長) 総合的にユニバーサルデザインに基づいた設計を検討してほしいということである。

(委員) 健康増進、交流機能で、視察でウォーキングコースがあったのがよかった。特別に何かを作るのではなく、廊下が利用されているということで、検討してもらいたい。

(委員長) 廊下等をスポーツ機能に活用するという事で、壁をボルタリングで利用することも同様であるが、いろいろな設備をニーズに合わせて活用していくという視点である。

(委員) 防災の視点から、災害時のマニュアル作りについて、医療体制、けが等への対応として、医務室とかでなく、多目的室等の利用について、ソフト的な面から必要と考える。

(委員長) ハードの空間を整備していくということではなく、その空間をどのように活用していくのかというマニュアル作りも大切な視点である。

(事務局) キッズルームについては、日向高校の意見も踏まえて、スポーツをされる以外の方も体育館が利用できるように、基本構想には盛り込んでないが、今後、検討していきたい。

(委員長) 普段からスポーツをしていない方も利用できる施設として整備することは、スポーツの振興や防災の拠点施設等の点からも、市民の方から選択される魅力ある施設として重要な視点である。

(委員) やる側でなく、見る側の視点からも、観戦する際に、喫茶、軽食コーナーがあれば使いやすい施設になると考えている。

(委員長) スポーツを通じたまちづくり、地域活性化という視点からは、このような食の機能は必要で、施設の魅力を高めることにもつながると考える。

(副委員長) Wi-Fi は、今後、施設内での端末の活用や情報発信等、絶対に必要な設備であり、少ない予算でできるハード的な整備と考えている。

(事務局) 出された意見を取りまとめ、次回、再度、検討していただく。

■次回開催予定 11月24日(水) 14:00~

資料は、別添のとおり。